

2 緊急対策の展開

国では、新型コロナウイルス感染症への対応に当たり、2月に「対策の基本方針」を策定し、緊急対応策（第1弾及び第2弾）を実施するとともに、4月には、「緊急経済対策」を決定し、二度に渡る補正予算を通じ、対策を推進してきた。

道では、こうした国の政策と連携しながら、これまで数次に渡る補正予算を編成し、保健・医療、経済・雇用、教育・生活など各分野における緊急対策を実施してきた。

【国及び道の補正予算等】

国の動き（補正予算等）		道の動き（補正予算等）	
2/25 決定	「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」 ◆国緊急対応策第1弾(2/13決定) ◆第2弾(3/10決定)	3/25 成立	(1定最終日) 緊急対策第1弾 (予算額277億円)
4/7 決定	「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」	4/28 成立	(第1回臨時会) 緊急対策第2弾 (予算額784億円)
4/30 成立	1次補正（財政支出48.4兆円） ◆包括支援交付金、地方創生臨時交付金の創設 ◆中小・小規模事業者等の資金繰り対策 ◆持続化給付金、特別定額給付金の創設 ◆農林水産物・食品の輸出力・国際供給力の強化 ◆GIGAスクール構想の加速による学びの保障	5/15 成立	(専決処分) 5/19からの休業要請に係る支援金 (予算額49億円)
6/12 成立	2次補正（財政支出72.7兆円） ◆包括支援交付金、地方創生臨時交付金の拡充 ◆検査体制の充実、感染拡大防止とワクチン等開発 ◆中小・小規模事業者向けの融資 ◆「家賃支援給付金」の創設 ◆地域公共交通における感染拡大防止対策 ◆文化芸術活動の緊急総合支援パッケージ	6/16 成立	(2定開会日) 緊急対策第3弾 (予算額300億円)
		7/3 成立	(2定最終日) 緊急対策第4弾 (予算額3,677億円)
		これまでの予算額累計 5,088億円 (対策規模 1兆2,793億円)	

【道の緊急対策（第1弾～第4弾）の概要】

第1弾 補正予算額：277億円 ▶ 新型コロナウイルス感染症の早期終息に向け、できることは全てやるという考えの下、国の緊急対応策も踏まえ、感染拡大の防止や医療提供体制の確保に万全を期す ▶ 新型コロナウイルス感染症が道内経済や道民生活に大きな影響を与える中、事業の継続と雇用の維持に全力で取り組むとともに、感染拡大防止と社会経済活動の両立を目指す (保健・医療・福祉) 10.3億円 (経済・雇用) 252.9億円 (教育・生活・文化) 14.1億円	第3弾 補正予算額：349億円(専決含む) 第4弾 補正予算額：3,677億円 ▶ 第3波以降に備えた感染拡大防止対策に万全を尽くし、社会経済活動のレベルを段階的に拡大 ▶ 道民と事業者双方が「新しい生活様式」を実践する「北海道スタイル」の取組を各分野で展開 第3弾 (行動変容に向けた啓発・広報) 1.6億円 (保健・医療・福祉) 70.2億円 (経済・雇用) 106.8億円 (教育・生活・文化) 170.5億円 第4弾 (保健・医療・福祉) 1,293.7億円 (経済・雇用) 2,341.0億円 (教育・生活・文化) 42.9億円
第2弾 補正予算額：784億円 ▶ 道民の皆様の協力のもと、感染拡大防止の徹底と医療提供体制等の更なる強化を図り、第2波ともいえる感染拡大の危機を乗り越え、早期の事態収束を目指す ▶ 徹底した感染防止対策を講じながら、甚大な影響を受けている経済活動の維持・継続を図る ▶ 学校や社会生活の安全・安心を確保しながら、感染拡大の防止に向けた取組を着実に進める (行動変容に向けた啓発・広報) 1.7億円 (保健・医療・福祉) 68.2億円 (経済・雇用) 679.2億円 (教育・生活・文化) 35.3億円	

また、緊急対策の実施に当たっては、4月に策定した「北海道における新型コロナウイルス対策の展開方向」に基づき、感染拡大の防止と社会経済活動の段階的な拡大、そしてこれらの鍵となる「北海道スタイル」の浸透・定着に向けた取組など総合的な施策の展開を図ってきている。

